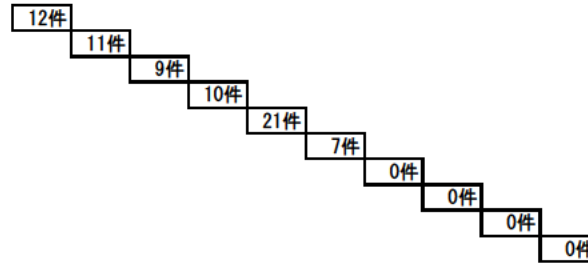
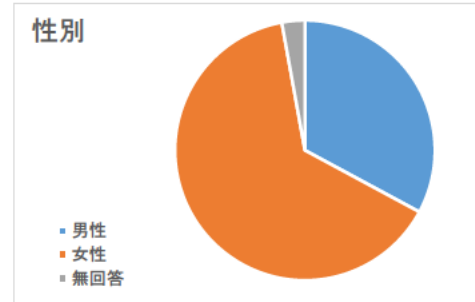


# 県・市町職員向け手話研修事業 アンケート調査結果（中間報告）

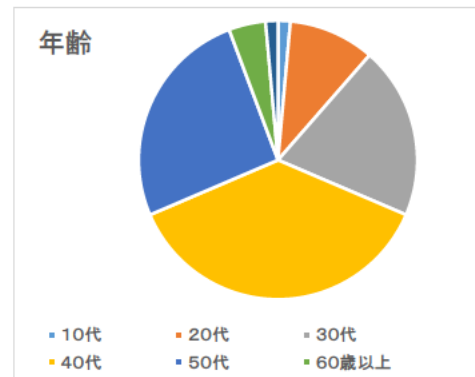
- 10月12日 第1回（本庁舎）アンケート回答者数
- 10月24日 第2回（津庁舎）アンケート回答者数
- 10月31日 第3回（桑名庁舎）アンケート回答者数
- 11月17日 第4回（四日市庁舎）アンケート回答者数
- 11月28日 第5回（鈴鹿庁舎）アンケート回答者数
- 12月20日 第6回（松阪庁舎）アンケート回答者数
- 1月19日 第7回（伊勢庁舎）アンケート回答者数
- 1月24日 第8回（尾鷲庁舎）アンケート回答者数
- 2月5日 第9回（伊賀庁舎）アンケート回答者数
- 2月22日 第10回（熊野庁舎）アンケート回答者数



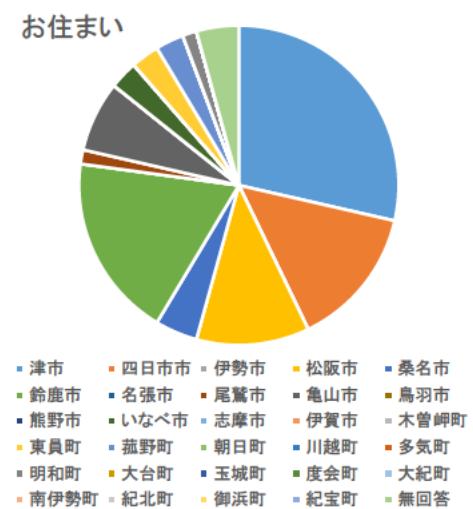
性別	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
男性	3	6	1	4	6	3					23
女性	8	4	8	6	15	4					45
無回答	1	1									2
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70



年齢	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
10代					1						1
20代		1			6						7
30代	3	3	3		4	1					14
40代	4	4	4	6	5	3					26
50代	3	3	2	4	3	3					18
60歳以上	1				2						3
無回答	1										1
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70



お住まい	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
津市	5	9		1	5						20
四日市市	1		3	5	1						10
伊勢市											0
松阪市	1	1				6					8
桑名市			2	1							3
鈴鹿市	1				12						13
名張市											0
尾鷲市		1									1
亀山市	2		1	1	1						5
鳥羽市											0
熊野市											0
いなべ市			2								2
志摩市											0
伊賀市											0
木曾岬町											0
東員町			1	1							2
菰野町					2						2
朝日町											0
川越町											0
多気町											0
明和町						1					1
大台町											0
玉城町											0
度会町											0
大紀町											0
南伊勢町											0
紀北町											0
御浜町											0
紀宝町											0
無回答	2			1							3
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70

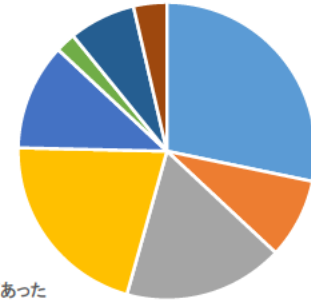


きっかけ	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
手話に興味があった	7	8	8	5	7	4					39
前から受けてみたかった	2	3	1	1	4	1					12
聴覚障害のことを知りたかった	1	7	3	3	7	3					24
手話をちょっと覚えたい	6	8	4	3	7	1					29
職場、周りに聴覚障害者がいるので	2	2	4	1	5	2					16
業務命令で来所		2				1					3
情報は知っているがもっと学習したいと思った	2			2	4	2					10
(その他)	1		1	2	1						5
※複数回答可	21	30	21	17	35	14	0	0	0	0	138

(その他)の内容

- 第1回 なんとなく
- 第3回 職場の人と手話でかいわしたい
- 第4回 聴覚障害者の窓口対応
- 第4回 職場が人権関係で、障害のある方との接点
- 第5回 以前の職場が障害福祉課だった

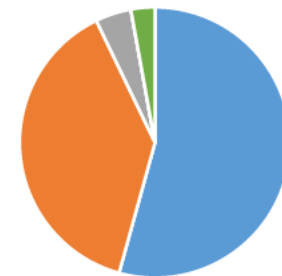
きっかけ



- 手話に興味があった
- 前から受けてみたかった
- 聴覚障害のことを知りたかった
- 手話をちょっと覚えたい
- 職場、周りに聴覚障害者がいるので
- 業務命令で来所
- 情報は知っているがもっと学習したいと思った
- (その他)

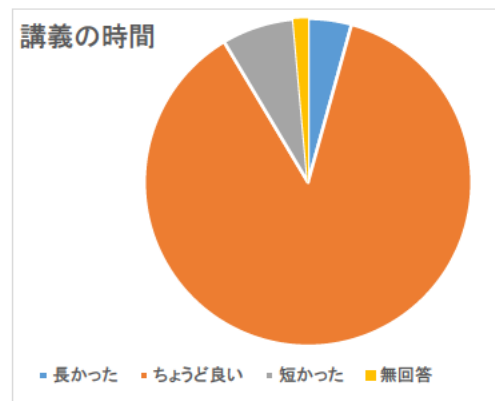
講義	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
大変良かった	5	7	3	5	13	5					38
良かった	7	4	6	3	6	1					27
普通				2	1						3
悪かった											0
大変悪かった											0
無回答					1	1					2
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70

講義



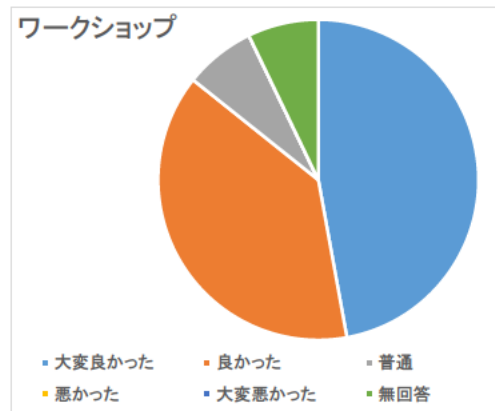
- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- 悪かった
- 大変悪かった
- 無回答

講義の時間	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
長かった	1			1	1						3
ちょうど良い	11	10	8	7	19	6					61
短かった		1	1	2		1					5
無回答					1						1
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70



<参考>理想の講義時間	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
60分	1										1
90分	1				1						2
120分						1					1
180分		1		1							2
合計	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	6

ワークショップ	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
大変良かった	5	6	5	5	8	4					33
良かった	4	5	2	3	11	2					27
普通	2		1	1	1						5
悪かった											0
大変悪かった											0
無回答	1		1	1	1	1					5
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70



## 感想

- 第1回
- ・言葉に加え「しぐさ」も大切であることが分かった。手話が特別なものでないことが分かった。楽しかったです。
  - ・あっという間に2時間が過ぎました。今日の講座を受講したことで何かわからない…という不安が少しとり除けたと思います。ありがとうございました。
  - ・障がいのある人への対応について、ばくぜんとした不安があったがとっかかり部分の手話が覚えられたことや、ふだんのしぐさでもある程度通じることが分かって良かった。
  - ・自分で考えて身振り手振りで相手に伝えるのはとても難しいと思いました。身近に聴覚障がいの方がいるので覚えてどんどん使ってみたいと思いました。
  - ・考え方と実際の手話とを考えていただけ良かったです。最後に資料いただけ良かった。
  - ・分かりやすくて良かった。
  - ・手話の「元」となる説明があったので、覚えやすくて良かった。(名前、「はじめまして」とか)
  - ・もう少し手話を学ぶ時間をとって良かったと思う。
- 第2回
- ・グループの発表はもう少し短くても良いのでは？それぞれの手話の成り立ちの説明があって覚えやすかった。
  - ・知らなかったこと、わからなかったことを知るための良い機会だったと思います。構えすぎないことの大切さも分かって良かったです。
  - ・手話以外のしぐさや表情の工夫で意思が通じるということを知ることができ良かった。
  - ・実際手話で会話的なことができたのは良い経験になりました。
  - ・講演内容が手話や聴覚障害者のことだけでなく、いろんな分野で重なることだと考えられた。
  - ・難しい手話がなく、楽しく手話に接することができた。
  - ・手話の動作の意味を知ることによって理解が深まり、覚えやすくなると感じた。実技を学びたいと思った。
  - ・講義を聞き、一歩踏み出せる勇氣になりました。もっとたくさんお聞きしたかったです。
  - ・しぐさ、表情が大切であると理解できた。
  - ・相手に伝えたいという気持ちを大切にしていきたいと思いました。とても勉強になりました。
- 第3回
- ・わかりやすかった。
  - ・覚えるのは大変、でも覚えると楽しいかも。
  - ・いろいろ考えるきっかけとなった。
  - ・私は手話ができないので、ふだんお互いに読唇を主に会話しているが、これを機会に手話を覚えて会話に取り入れていきたい。
  - ・手話を教えてもらえると求めてきたのでちょっとあれ・・・という感じだったが、「気持ち」という点で聞かせていただいてよかった。
  - ・まったく気づかずに過ごしている生活の中に、音声による情報がいかに多く重要であるかに気づき、その情報が得られないろう者のことを考えることができた。
  - ・講義で現状を知り、自らや職場を見つめ直す気づきが多くあったので、大変良かった。実際にあいさつの手話もできて気軽に取り組めた。
  - ・普段の生活が音声に頼りきっていたことに気が付いた。そんな世の中に聴覚障害の方々が生きてみえるんだと思うと、もっと多くの配慮をしたいと思った。
  - ・講義は、普段あまりにも当たり前で過ごしている中にも聴覚に障害がある方には困ることがたくさんあることに気づかされた。聴覚障害の方が利用しやすい施設は他の大勢の方にも利用しやすいというような気がする。
  - ・これを機に少しでも手話をしたしたいと思います。
- 第4回
- ・伝えようとする気持ちが大切だと分かった
  - ・手話の実践時間に時間を費やしてほしかった
  - ・初歩としては良かった
  - ・ジェスチャー・口の動きが大分助けになることが分かった
  - ・居酒屋の事例から、お互いの歩み寄りの大切さを理解した
  - ・手話が出来ないといけないと思いつまず、何が出来るんだろうと考え、ジェスチャー・筆談など努力することが大切だった
  - ・気づきの多い研修でした。難しいと思っていた手話ですが覚えやすいものが多かった。もう少し手話を学びたいと思いました。とても分かり易かった
  - ・バリアフリーという言葉が定着して長い時間が経ったけれども、設備面だけの対応ではなく、障害のある方への寄り添う心を忘れずにいたいと思った
- 第5回
- ・適切な時間で良かった。講義とワークショップのバランスが良い。
  - ・簡単で実用的な手話を覚えることが出来て良かった。
  - ・手話には興味があったので初めの一歩としては良かった。
  - ・身ぶりで意思を伝えあえることが大事と分かった。
  - ・聴覚障害者の不便がわかった。
  - ・聴覚障害者への理解が深まった。適度に休憩もあり講義も良かった。
  - ・実用的な手話が学べてよかった。
  - ・窓口で使える手話を学べてよかった。実践したい。
  - ・庁内の講座に参加したことはあるが今回のような表現を学んでもっと手話を覚えたい学びたいと思った。職場でも使っていく。
  - ・身構えないでしぐさをしてみようと思った。聴覚障害者の苦勞を知ることが出来手話も少し覚えられたので良かった。
  - ・自分の名前を手話で覚えて良かった。障害者だけではなくお年寄り、外国人に対しても共通な部分があると分かった。
  - ・手話を学びたかったので良い機会だった。
  - ・仕事で使える手話をたくさん覚えられてよかった。名前も表現できてよかった。
  - ・手話だけではなく表情やしぐさも大事だとわかった。気負わず皆が手話を使えたら良いと思った。
  - ・ちょっとした考え方で見方が変わり大変ためになった。
  - ・後方に座ったため、手話の実技が見にくかった。

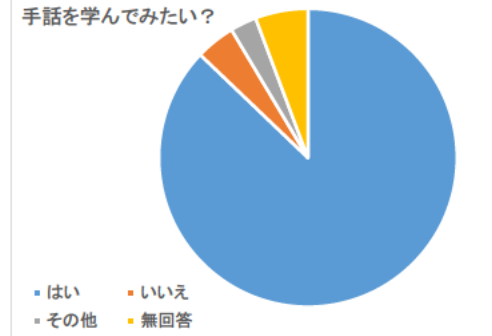
- 第6回
- ・あっという間に時間が過ぎました。
  - ・また、よろしくお願いします。
  - ・最初は難しいと感じましたが、最初歩とはいえ手話について初めて学ぶことができて良かったと思います。
  - ・またしてください。
  - ・やらないと忘れてしまう…難しく考えてしまってわからなくなってくる。身振りでもOKで気楽になりました。

- 第7回  
第8回  
第9回  
第10回

手話を学んでみたいですか？	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
はい	11	11	9	7	18	5					61
いいえ					2	1					3
その他				2							2
無回答	1			1	1	1					4
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70

どこで？

- 第1回
- ・職場で
  - ・まずはテレビで…
  - ・機会があれば
  - ・地域で
  - ・地域のサークルで
  - ・時間があればサークルなどで学んでみたいです。
  - ・ちょっとだけ？
- 第2回
- ・自宅
  - ・身近な人
  - ・サークル
  - ・講座
  - ・本庁
  - ・職場に近いところ
  - ・津市内
  - ・伊賀市等
- 第3回
- ・意思疎通の方法。日本人は表情が乏しいので。
  - ・伝えたいことをすべて伝えるのは難しいと思った。
  - ・手話ができる人が窓口にいればいいが、聴覚障害の方すべてが手話ができるとは限らない。
  - ・行政から何か案内するときには、連絡先にTEL/FAXを載せるが、実際聞こえない方からの問い合わせが来た時の対応は考えていなかった→想定しておくべきと思った。
  - ・危険を知らせるなどつさのときに、声を出しても伝えられない。
  - ・聴覚障害者でないと気づけない不便さがあると思ったが、ということがふべんなのか、困ることなのか想像できない。
  - ・視覚に訴える情報提供のあり方を、寄り添う心で考えなくてはならないなと感じた。
- 第4回 (その他)
- ・ハードルの高さを感じ迷いあり
  - ・考えている



第5回 職場  
書店のテキストで教えてもらう  
近くで  
単発的な教室で  
市役所や役所内の施設で  
(いいえ) ・身近に手話のできない人がいるので身振りと筆談で頑張る。  
・難しいと感じた。

第6回 ・DVDや動画で学べると覚えやすい  
・この研修を通じて  
・職場か職場に近いところで  
・近くで機会があれば  
・現在手話奉仕員講座を受講中  
(いいえ) ・当面は時間をとるのが難しそうなので

第7回  
第8回  
第9回  
第10回

聞こえない人への支援はどんなところが難しいと感じましたか？

- 第1回 ・聞こえないことの不便のいろいろを想像しなくてはいけないと思いました。  
・自分の気持ちを伝えること。  
・コミュニケーションをとる。  
・自分が経験できない事なかなかどういった困り事があるのか分からなかった。救急車や緊急時もそうだ！電話とかできないなあ…と気づけました。  
・聞こえない方のご苦勞も聞いてみて“はっ”としました。こちらの知る機会が少ないと思いました。
- 第2回 ・聞こえる側からの支援は不十分になりやすい。  
・自分の中で壁を作ってしまう。  
・相手ができること、できないこと、困っているポイントなど聴覚障害者の人の日々の暮らしを分からないことで、支援のズレや不足、難しさがあるのでは？もっと知る、情報発信してもらうことで解消されていくと思う。  
・こうしなきゃと思い過ぎるのは良くないのだと思いました。短時間で関係が築けるのか不安です。  
・あまり経験がないのでどういった時に適切な対応できるか難しかった。  
・ろう者とあまり関わった経験が少ないこと。  
・見てすぐに判断できないので、まず聞こえない人がいらっしやるということを知ることが難しい。  
・支援することを難しく考えてしまう。自分の行動を一步步変えることが大変だと思いました。  
・相手に安心感を与えることが出来るかどうか。  
・情報を伝える方法が限られてしまう点が難しいですが、事前にその方法を用意したり、相手に伝えたいと言う気持ちを大切にしていきたいと思います。
- 第3回 ・意思疎通の方法。日本人は表情が乏しいので。  
・伝えたいことをすべて伝えるのは難しいと思った。  
・手話ができる人が窓口にいればいいが、聴覚障害の方すべてが手話ができるとは限らない。  
・行政から何か案内するときには、連絡先にTEL/FAXを載せるが、実際聞こえない方からの問い合わせが来た時の対応は考えていなかった→想定しておくべきと思った。  
・危険を知らせるなどつきのときに、声を出しても伝えられない。  
・聴覚障害者でないと気づけない不便さがあると思ったが、とうとうことがふべんなのか、困ることなのか想像できない。  
・視覚に訴える情報提供のあり方を、寄り添う心で考えなくてはならないと感じた。

- 第4回
- ・先ず聴覚障害者であることに気付くこと
  - ・日常的に接する機会が少ないので、意識しにくいことも課題だと思う
  - ・聞こえない人がどのような部分で苦勞し、不快な思いをしているか全然分かっていなかった。先ずはその理解から始めたい
  - ・見てわかる障害ではないのも難しいと思います。聞こえない人だけではなく全ての人に配慮できる社会づくりが出来れば良いなと思います。人の歩み寄りが大切だと思うので、小さい時から接する機会（学校）を増やすとよいと思います。
  - ・見ただけでは支援が必要か分からない所
  - ・緊急の時にどう知らせるか考えておく
  - ・聞こえない人に気を使ってしまう
  - ・微妙な表現を必要とすることが伝えにくそう
  - ・十分にコミュニケーションが取れたかが分かりづらい（お客様満足度）
- 第5回
- ・身ぶりでもどこまで伝わっているか不安。
  - ・聞こえない人が何に不便か、何に気づけないか理解するのが難しい。
  - ・聞こえている人の施しをあげる気持ちと、聞こえない人の障害者意識。対等であるという認識を持つことが大切だと思った。
  - ・災害があった時、わからないのでどう教えるかが難しいと思った。
  - ・間違ったことが伝わっても確認するのが難しい。
  - ・筆記に時間がかかる。
  - ・コンビニのようにたくさん質問されるのが苦手と聞き、できるだけ手話やしぐさで伝えたいと思った。普通に暮らせるよう手話や要約筆記が活用できる社会になってほしい。
  - ・手話を使っていない時は本当に伝わっているのかわからない。
  - ・周囲の理解や環境が整っていないので、通訳がない中で普通の生活は難しいのではないかと考えた。
  - ・難しいと思わずに「人は通じる」を信じて関わって行けたら良いと思った。
  - ・事務的な手続き等資料を使い説明することがあるが本当に伝わったか不安なときがある。
  - ・見た目では聞こえないことがわからないこと。1対1なら通じるかもしれないけど伝わらない場面もあると思う。
  - ・意思や政策の細かい部分が伝わらないとどかしい。
  - ・細かい事務手続きについて微妙なニュアンスが伝わらず難しいと思う。
  - ・筆談対応で時間がかかってしまうので申し訳ないと思う。ニュアンスを伝えるのが難しい。
  - ・聞こえないということをアピールしてほしい。それがないと聞こえていると思ってしまう。
  - ・身ぶり、しぐさで伝える。相手に寄り添う思いが相手に伝わるとのことだが、こちらが慌てていることも伝わってしまうと思い今後は気を付けたい。
  - ・自分は理解できても相手に通じるか、表情を使うのが難しい
- 第6回
- ・外見では障害があるのか判断しにくく、初動で戸惑ってしまいがちになりそう。
  - ・何が不便かわかりづらさがあります。
  - ・初めてだったので手振り身振りは少し恥ずかしかったが、やってみると意外と簡単だった。
  - ・聞こえないということがどういうことがイメージしにくいから、講座などで聞いて初めてわかることがある。
  - ・まだまだすべての人が相手に立場に立つことが難しいのが現実。聴覚障害の方は外見ではわかりにくい。
  - ・こちらが伝えてことを本当に理解してもらったのかわからないときがある。（わかっていなくてももうなずいたり大丈夫という表情をされてしまうことがあった）
- 第7回
- 第8回
- 第9回
- 第10回



その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください。

- 第1回
- ・2回目があっても良いと思いました。
  - ・また手話講座があれば参加したいと思いました。せっかく覚えた手話をぜひ使って会話とか講座の中であればなと思いました。
- 第2回
- ・できることから始めてみようという気持ちになる良い内容でした。参加して良かったです。
  - ・参加者同士の手話による対話、時間が取れれば。
- 第3回
- ・聞こえない人のみならず、見えな人等さまざまな人に関する事例や紹介、研修などをまた開催してほしい。（既に開催していただいていると思いますが）
  - ・障害者にとって優しく便利なことは、他の弱者や一般の方にとっても優しく便利であると思った。
  - ・手話を覚えてみたいという気持ちはある。ろう者方が窓口に見える職場なので、簡単な手話だけでも使えるようになればと思う。
- 第4回
- ・回数を増やしてレベルをかえて欲しい
  - ・大変勉強になりました。どんな人にも出来る配慮があると、そして実践したい
  - ・今後もこのような講座を続けて欲しいです。
  - ・耳の不調は早期の治療が欠かせないと聞いたことが有る。障害を残さない為にもそのあたりの大切さを講義でお伝えしていただくと、なお良いのではないかと思います。
  - ・コミュニケーションしようとする気持ちが大切ですね
  - ・手話サークルが近くにあると参加しやすいです。盛んなところと、そうでもない所がありそうですね。四日市は少ないです。
- 第5回
- ・これからも継続して講座を開いてほしい。
  - ・初めて知ることが多く楽しかった。
  - ・筆談だけではなく今日学んだ手話も使いたい。
- 第6回
- ・少し学んで、少し使って筆談をすることに意義があることがわかりました。
  - ・今まで自分（健常者）の目線でしか物事を考えていっていませんでしたが、様々な障害者の目線に立って考えていきたいと思いました。少しでも県民のお役に立ちたいです。
- 第7回
- 第8回
- 第9回
- 第10回

所属	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
津市		2									2
四日市市				1							1
伊勢市											0
松阪市											0
桑名市			2								2
鈴鹿市					8						8
名張市											0
尾鷲市											0
亀山市					1						1
鳥羽市											0
熊野市											0
いなべ市			3								3
志摩市											0
伊賀市											0
木曾岬町											0
東員町			1								1
菟野町					1						1
朝日町											0
川越町											0
多気町											0
明和町						1					1
大台町											0
玉城町											0
度会町											0
大紀町											0
南伊勢町											0
紀北町											0
御浜町											0
紀宝町											0
三重県	12	9	3	9	11	6					50
合計	12	11	9	10	21	7	0	0	0	0	70

